

第3学年 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

1. 目標

- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 指導計画

月	「情報の技術」
4	○オリエンテーション
5	○情報の技術とは何だろう ・ハードウェアとソフトウェアの発達
6	○情報のデジタル化 ・情報のデジタル化
7	・情報のデジタル化とデータ量 ○情報通信ネットワークの仕組み ・情報機器を識別する工夫
9	・情報を伝える工夫 ——— 実習 ネットワークを利用した双方向性コンテンツによる問題解決 ———
10	○双方向性のあるコンテンツとは何だろう ○問題を発見し、課題を設定しよう
11	○実習の振り返り
12	教材：ライフイズテックレッスン
1	○安全に利用するための情報モラル
2	○安全に利用するための情報セキュリティ ○1年間のまとめ

<授業で使用するもの>

- ・教科書（東京書籍）
- ・ワーク（明治図書）
- ・プリント
- ・実習教材
- ・タブレット など



3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 (何を理解しているか、 何ができるか)	・学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 ・タブレットを操作して、双方向のコンテンツを活用することができる。 ・実習では、必要な機器を安全かつ適切に使用することができる。 ・実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。 ・実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、 できることをどう使うか)	・生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 ・実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。
主体的に学習に 取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 ・授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 ・授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 ・提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。